

# 静岡県知事 川勝 平太 基調講演

## もっと自覚してほしい静岡県の良さ

静岡県の良さというのは、景色がいい上に、人もよく、食べ物もよく、「住んでよし 訪れてよし ふじのくに」といわれる場の力をもっていることです。

これをもっと自覚したいものです。

衣食住というのは毎日の暮らしですが、普段の暮らしを見た人が、「いいなあ」と思ってくれるように工夫することが大切です。特別なイベントやお祭り、その時にだけ人を呼び込もうというのではなく、普段通りの生活を見て、「なんていいところなんだ」と思わせるだけの場の力を秘めているので、それを発揮したいですね。

特に風光明媚で温泉のある伊豆半島は「春もよし 夏もまたよし 伊豆の郷 秋は格別 冬さらによし」と詠われ、四季折々いつ来てもいいところです。

そのように「また来たい」と思わせる力が「ふじのくに」全体にあります。



富士山静岡空港



牧之原のお茶畑



河津町峰温泉の観欠泉

写真協力/観光光協会



## 人間の五感に訴えれば十分にコミュニケーションはできる

富士山静岡空港ができて、日本語に通じない方もたくさんお越しになっています。富士山静岡空港は、全国の空港のなかで外国人客数は全国8位という人気です。

韓国とは、毎日運航しており、台湾からは100便以上のチャーター便が来て実績が上がり、まもなく定期便に昇格します。

中国では、上海という非常に経済が発展した大都市と結ばれています。

衣食住は、目に見えますので、外国人に説明しなくても、彼らはその印象を五感で感じます。

言葉は通じなくとも、見たり味わったり感じるの、人類共通です。

富士山は綺麗、伊豆半島のリアス式海岸は良い、修善寺の温泉は「ほっとする。」と、身も心も休まるものを備えているので、それをさらに生かす工夫が必要です。

## 世界に誇るべき伊豆半島、富士山

静岡県は多様な自然に恵まれ、伊豆半島は世界でもっとも美しい半島です。いずれジオパークに認定されるはずで、世界の財産になります。

富士山は、いくらお金をかけても作れません。いくらお金を積んでも買えない価値の高いも

のを「プライスレス」といいますが、それほどに貴重なものです。誕生以来46億年の地球の造山活動の最高傑作が富士山だと思います。

## 山、森林、川、そして海へ

山は水を生みます。水は生命の源です。静岡県には、生命を育む緑なす山々、天城山、富士山、南アルプスがあります。

山々からは、狩野川、富士川、大井川、天竜川などが流れて

います。これらの水は森の栄養分をしっかり吸っており、沿岸地域に豊かなプランクトンが生息し、そのプランクトンを魚介類が食べるので、静岡県の周囲は豊穡の海になっています。我々人間は、海に注ぐ前の河の水を拝借して、農産物を育てます。

静岡県の農産物の数が167品目と日本一を誇るのも、四季ごとに旬のものがあるのも、豊かな山、森林、川のおかげです。



桜エビと富士山



狩野川桜公園



お茶と富士山



お米と富士山

写真協力/観光光協会

## 静岡県の良さに気づくことで夢をつなげる

我が国はこれまで二千年にわたって、京都に東洋の文明を、東京に西洋の文明を取り込んできました。静岡県は、両者の出会い東海道の真ん中に位置し、日本のシンボル富士山を擁しています。山があり、海があり、豊かな森が広がり、清らかな水の流れがある。これは日本の本来の姿です。

そうした多様な自然の恵みを活用して美しく生活し、衣食住を営むことは、人々の憧れを集め、理想郷になれるはず。普段は気に留めない衣食住を改めて見直すには、外に出て見ることが大事です。湯布院や小布施がなぜ人気があるのか、百聞は一見に如かず、外国人のなかで訪問客の多い韓国・台湾に行けば、言葉は分からなくても相手の衣食住は見て分かります。相手を知れば、対応もうまくなります。我々の風土は一級品であり、茶・食・住・温泉を組み合わせれば、圧倒的に優位な立場にいるということに気づくはず。それを知ることによって元気になる、夢をつなぐことができます。

将来、この地域が素晴らしい理想郷になりますよう祈念申し上げます。

(基調講演から抜粋)



分科会および大ホールロビーでの展示の様子